



五右衛門風呂からシステムバスルームに変わっても、変わらないもの。



image photo

浴槽に湯を張ってつかう今のようなお風呂は、江戸初期に始まって普及したもので、それまでは蒸し風呂が一般的でした。現在の浴槽の原形となる風呂おけは、関西では五右衛門風呂、関東では鉄砲風呂と呼ばれていました。

デザインや性能、機能性は大きく変わりましたが昔も今も、1日の疲れを癒し、リフレッシュしてくれる一時には変わりありません。「ユーロコート」のシステムバスルームは、安全性・機能性はもちろん、空間のデザイン性や解放感にまで気を配った、ワンランク上の上質なリラックススペースを演出。清潔で爽やかな毎日をお届けします。バリアフリーに対応し、人の動線や使い心地を最優先に考え、小さなお子様やお年寄りはもちろん、使う人のすべてが安心して気持ち良く使えるように、人間工学に基づいたさまざまな工夫を盛り込んだ、人に優しいシステムバスルームです。さらに、今だけでなく、将来の高齢化に対応した使いやすさも考え、浴槽のまたぎの高さを40cmと低く設定、出入りをしやすくするなど、構造面にも配慮しています。イージーオーダーシステムとして、アクリルの浴槽は3色、人造大理石の浴槽は4色、オプション仕様でジャクージバスも取り揃えています。

小さなお子様からお年寄りまでの安全・機能性に配慮したバリアフリーのシステムバスルーム。



●バスルーム施工例



●浴槽側水栓



●洗い場側水栓



21世紀の100年マンションに対応不可欠なマルチメディア。

IT時代のマンションとして、数々の情報設備を完備。



image photo

遠くの人に自分の意志を伝える、太古の昔には煙による「のろし」を使う時代もありました。また、筆で一字一句したためた手紙を、飛脚が肩に担いで走った時代。“サクラサク”の合格を伝えた電報の頃。まだ電話がめずらしい、黒光りする重量感の電話機の時。

そして今は、パソコンや携帯電話・PHSなどを軽やかに操る世界へ。現在のIT革命の中心はもちろん、距離・場所・時間を越えたコミュニケーションを可能にしたインターネット。「ユーロコート」は50年を超え、100年をめざす住まいだからこそ、これからのIT時代にふさわしい、マルチメディアの進展を見据えた情報設備配線を完備しています。豊富な数のアウトレット、多彩な放送が視聴できるサービス（オプション）など、メディアライフの多様化に対応できる情報設備をさらに充実させ、先進の情報化時代に対応していきます。ユーロコートは、高度情報化社会に対応したマンションとして、通信、放送などのトータルな配線システム、マルチメディア対応配線を充実させています。一住戸への電話・映像データの引き込み箇所を1か所にまとめ、さらに、光ファイバーの交換、引き込みのための22mm幅のCD管を埋設先行配管し、光ファイバー専用回線を引くための準備も万全。外部との通信・放送は情報分電盤で中継し、各室内には電話・ISDN・LAN、TV端子、電源コンセントを一体化しマルチメディアに対応しています。テレビは、世界中の最新ニュースやスポーツ、音楽や映画などの多彩な番組を楽しめる、BS、CS（標準はリビングのみ）アンテナの設置ができ、さらに地域によっては、電波の状態や気象条件に関係なく、いつでもクリアな放送を見られるCATVの導入が可能です。インターネットアクセスは、24時間常時接続の専用回線が導入できる先行配管をしています。

ISDN回線
がほしい

パソコンを設置
した部屋に電話
端子がない

各部屋に
テレビ端子が
ほしい

パソコンや
プリンターの
電源コンセントが
足りない

●こんなにもお役に立ちます



●施工時のCD管の先行埋設配管工事